

北電敦賀火力で現場見学

福井県コンククリート
フリート診断士会
フライアッシュ製造

福井県コンクリート
診断士会（石川裕茂会
長）は29日、石炭火力
本体事業の副産物とし
て発生するフライアッ

シュの供給現場を体験
し、より一層その優位
性に理解を深めようと
敦賀市泉の北陸電力敦
賀火力発電所へ見学に
出掛けた。写真。

ボルで存在感のある施
設ながら、市内の会員
も身近ではあっても初
めて内部に入る貴重な
機会となった。

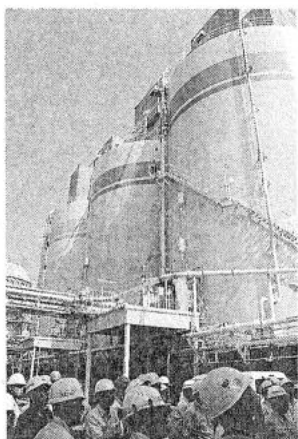
される球形微粒子で、
JIS規格に適合する
FAをコンクリート混
和材として有効活用。
敦賀火力特有の分級F
AはJIS規格II種を
満足するほど高品質と
知った。また製造管理
はJIS灰原粉サイロ
×2（5000立方尺）
から分級装置を通し、
粗粉サイロとJIS灰
製品サイロ（年3万ト）
に分け、後者を通した
製品を敦賀セメントに
送り、有価販売（コン
クリート混和材など）
する一連の製造の流れ
などを学んだ。

正会員ら約60人が積
極的に参加し、高さ2
00以上の煙突がシン

参加者たちは日本ピ
ーエス本社敦賀工場に
集合・経由し同発電所
に到着。まずPR室で
座学に臨んだ。フライ
アッシュ（FA）とは
石炭を燃やした後に排
出される石炭灰のう
ち、電気集塵器で採取

一行はさらに所内を
めぐり、見上げる高さ
のサイロ近くまで足を

運び、灰処理分級装置
（太平洋エンジンアリ
ンク）の説明を受ける
など製造過程上の構造
面にも理解を深めた。
なおFAの有効性を
生かそうと福井県は公
共事業等で16年度以降
の標準使用を目指す14
年度はモデル工事18カ
所5700立方尺、今
年度はさらに伸展させ
25カ所程度約2万立方
尺で実施予定。ちなみ
に石川県と富山県も等



熱心な発電所内
などを見学
する会員の
写真

熱心な発電所内
などを見学
する会員の
写真

